



カンジー博士から、小学校で学習する 漢字に関するクイズが届きました。 子どもたちにも話したくなる解説付きです。



「利」を「リ」(りっとう、刀を表す)の部に収めています。

同様に「利」も、刃物を使った穀物の収穫などを表しますが、刃物を使うと短時間にたくさん収穫できることから、やがて「利」に「利益」の意味が備わりました。このように、「利」の構造では刃物が重要なポイントとなっているので、伝統的な漢字辞典では、

「利」を「リ」(りっとう、刀を表す)の部に収めています。

A Q

次の中で、部首が違うものはどれでしょう。

- ①秋 ②秒 ③程 ④利

利(他は「禾(のぎ)」部)

「禾」はイネなどの穂が垂れている形で、片仮名の「ノ」と「木」に分解できることから、日本語で「のぎ」と呼ばれます。これがつく漢字は穀物の種類や状態・用途などを表し、「秋」はイネが実る季節、「秒」はイネの穂先から「微細なもの」、「程」はイネが生長する長さから「分量」を意味します。

A Q

中国における「广」は、日本ではどの漢字に当たるでしょう。

- ①店 ②府 ③広 ④庁

広

中国では、一九五〇年代末期の「文字改革」で、漢字の字形を大幅に簡略化した「簡体字」が作られ、それがいま「正規の字形」として使われています。たとえば「中華」は「中华」、「漢字」は「汉字」と書かれます。

簡体字の作り方はいくつかあって、そのうちの一つに漢字の部首だけを利用するという方法があります。

過去に中国では、「広」は「廣」という複雑な形で書かれてきました。しかしその漢字はよく使われるのに覚えにくいので、「廣」の部首である「广」だけで表しました。それがいまの簡体字となっているのですが、「广」という簡体字が一般に定着する前は、「广」だけでは他の「广」部の漢字と混同するので、「广场」(広場)や「广东」(広東)など、二文字以上の熟語にしないと分からないこともしばしばありました。

ありました。

解説: 阿辻哲次(あつじ・てつじ)

京都大学名誉教授。専門は中国文化史、中国文字学。著書に『戦後日本漢字史』(筑摩書房)、『漢字のはなし』(岩波書店)など。光村図書小学校・中学校『国語』編集委員。

